

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel.045-894-7474

ZFCでの私の物づくり

ここで「物づくり」とは、毎週ZFCで皆さんと一緒にやってる「工作」のことです。私は子供のころから、工作が好きでいろいろな物を作って来ましたが、サラリーマンになってからは、時間的にも環境的にも思う存分な工作は出来なかった様に思います。定年退職後、最初の時間的条件が獲得できた頃、あるグループで知り合ったA氏からZFCのことを聞き、救いの神とばかりに入会させて頂きました。ZFCの雰囲気の良いさに助けられていろいろな「物づくり」の工作をさせて貰っていますが、ここで工作中に時々思うことを自己反省も兼ねて記してみたいと思います。

何か物を作る企画が生れた時、それを製品化するに当っては設計図を書いて紙上検討をしてから工作に着手するのが一般的な順序ですが、私は敢えて紙面におとさず、製品のイメージを記憶しているうちに、工作を始めることにしています。入会した頃の頃、作りたい物の案が浮かんだ時、図面化し材料を集めて製作を始めましたが、自然木の材料相手では殆ど図面通りにならず、図面修正に時間が掛かって難渋した記憶があるので、物づくり常識に従わないことにしました。

その後、設計図面無しで工作を始めた初めの頃は、完成時のイメージだけでは材料集め、作業手順が具体化しないので作業が進まなかったり失敗作が多かったりの不具合だらけでした。

しかし何度か経験するうちに慣れてきて、いつの間にか不具合もなくなりました。多分大昔から物づくりは行われていた筈ですが、筆記用具も無い時代は、今の私と同じ工法だったのではないか、その延長線上に大工の弟子は親方の元で何年も修行する等が産まれたのかも、と勝手に思っています。

この方法は企画が生れたら出来るだけ早く作ってみる、そしてその物の評価がすぐにできるというメリットがあります。しかしセオリーに背いての物づくりだから、良い事が多い筈は無く、しっかり吟味しないで製作にかかった分、品質に不安が付きまとうことは避けられません。私はその対策として、次の2つの方法を実行しています。第一は、必ず複数製品を直列順番で作る、即ち最初の1個が出来上がってから評価の結果を2個目以降に取り入れることです。これにも材料が多く必要になるというリスクが付きます、即ち必要数1個にも2個以上の材料を準備しないと良い物が出来ないこととなりますが、これはZFCだから出来る事であり、材料が豊富にあるという前提条件があるからです。品質対策の第二は、出来上がった製品を出来るだけ多くの人に評価して貰い、常に品質向上フィードバックを心掛けています。つまり、製品は多数の人の要求を満たす物が良い品質の筈ですから。

以上のようなせっかち物づくりは「すぐやる〇〇」で歓迎されるところもありますが、私の性格に合っているのか、又は加齢がなせるものか、悉く結果を急ぐ気分合致しているなど自覚しているところです。

私は、この様な物づくり姿勢が金銭授受が伴わない分、かなり甘えたもので他では通用しないことは重々自覚して、これからもZFCの環境と材料でいろいろな「物」を作っていきたいと思います。

村松 旭

1. 6～7月の活動報告

- ① 6月25日(土)晴 17名 下草刈り(クヌギ林)、竹材取り、製材
- ② 7月2日(土)晴 22名 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ間伐(池の上脇トレイル)
- ③ 7月9日(土)晴 22名 下草刈り(クヌギ林)、炭焼き準備、ホダ木移送
- ④ 7月17日(土)晴 20名 下草刈り(桜林)、トウネズ間伐(池の上脇トレイル)、運営会
- ⑤ 7月18日(日)晴 13名 森の保全管理計画説明会(市主催)
- ⑥ 各水曜日 準活動日として木工作业等を実施

2. 7月度運営会—7月16日開催

(1)8月度活動:3項参照

(2)その他

- ① ボランティア保険申請方法について。手続き要領作成(大越)。炭小屋書棚に置いておきます(黄色のクリアファイル)ので、時間を見つけてご覧ください
- ② チェーンソー保険詳細。チェーンソー作業に従事するメンバーは最大5名だが、時間を区分しメンバーを明確にすれば、1日で5名以上の会員がチェーンソー作業に従事することが可能。「チェーンソー作業日誌」で管理し、チェーンソー従事者用腕章を付けることとする
- ③ 上記を受け、下期に9号緑地の間伐作業を検討する
- ④ 卓上丸のご負傷事故について。6月29日(水)卓上丸のこで通院負傷事故(重大事故)への対応策
 - ・ 電動(含む充電式)工具類の取り扱いルールと使用マニュアルを作成整備(取りまとめ:工藤・佐藤)
 - ・ 上記にて、運営会等で勉強会を実施
 - ・ 新人会員には、随時取りまとめ役が中心に指導
 - ・ 当面は、電動工具類使用に際しては、手袋の使用禁止、保護メガネ等の着用。竹材には使用しない
 - ・ 水曜日にも安全責任者を選任し、準備体操と当日の作業確認をレンジャーと共にに行い安全管理に努める(当面)
- ⑤ ZFC作成のベンチ(持ち運び可能式)で、負傷事故(子供。手首骨折)が発生。現在、園内から撤去。対応は行政にて検討中
- ⑥ 7月の炭焼きは延期(実施日未定)
- ⑦ 30日の横浜栄高校ボランティア体験の取りまとめ役:竹内。メンバー:吉田賢・鬼塚・大越・山田・関根
- ⑧ 8月21日(日)森を守るボランティア体験対応、誰かいませんか?ZFCを説明して頂ければOKです
- ⑨ 8月13日・20日・27日の味噌汁当番が未充足です。調理の腕を上げたい方よろしくお願ひします
- ⑩ 8月5日(金)ろう特別支援学校・はまっ子ふれあいスクールボランティア<竹トンボ作りと竹馬・ぽっくり体験支援>。江崎(リーダー)・吉田光・村松・谷垣・吉田賢・勝俣・鈴木・張間。11時30分炭小屋集合

3. 8月度活動予定

- ① 7月30日(土) 準活動日。横浜栄高校(16名)体験学習支援
- ② 8月6日(土) 下草刈り(桜林)、駐車場草刈り、暑気払い 担当:大越・長嶋・武田・山本・橋詰
- ③ 8月13日(土) 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ除伐 味噌汁当番:田中
- ④ 8月20日(土) 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ除伐、運営会 同:片岡・加藤
- ⑤ 8月21日(日) 森を守るボランティア体験対応
- ⑥ 8月27日(土) 製材、炭小屋整理・道具手入れ、クヌギ林・炭小屋裏人工林調査作業 同:武田・山田
- ⑦ 毎水曜日:準活動日

4. 編集後記

今月の巻頭コラムは村松さん。「すぐやる村松さん」に本当に感謝しています。村松さんが言われる通り、全てのモノは頭の中で一度創造されます。誰もがこんなモノが欲しいなあ、あったらいいなあとは思いますが、でも、図面おろかイラストさえ描けません。それを頭の中でささっと作ってしまう村松さん、やっぱり凄い！作りながら品質を上げていく(これぞ作り込み品質)など、口で言うほど簡単ではありません。出来の良し悪しの要因が分かっていると手が打てないからです。素人には上手く出来なかった(出来た)要因がわかりません。材料が悪いのか、道具が悪いのか、はたまた腕が悪いのか・・・特定も出来ません。ですから、2個目以降が更に悪くなることもあります。多くに企業でのQCサークルの課題です。それをお一人で改善されるのは本当に素晴らしいことです。是非、そのノウハウを少しでも会員に伝授頂けたらと思います。

以上